

旅立ち

社会福祉法人しらとり会
利用者通信 (NO. 27)
平成 29 (2017) 年 8 月 1 日発行

今月は、5名の方からの投稿です。

あの頃の僕は若すぎて
君のわがままを許せなかった。朝から続く
雨の日に消えゆくものでした。
君はもう、あの灰皿の中の、思い出の
女として燃えてゆくのでした。
そんなあの日の僕でした。
君はもう、あの古いアルバムの中の人として
なったのでした。
とうとう好きだと言い出せなかった。

(S I)

落語・相の手都々逸

古今東西の有名人が一言言ってみたいセリフ

・ NHKのアナウンサーが一言言ってみたいセリフ

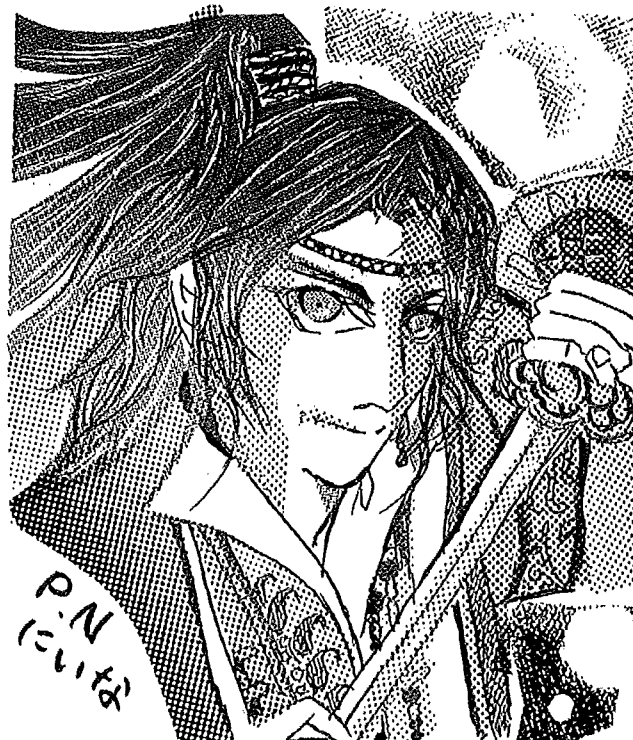
(何ですか?)

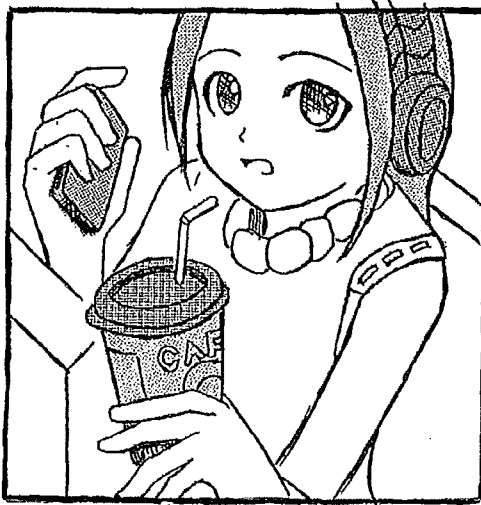
「正解は、コマーシャルの後で」。

・ 上野動物園のパンダが一言言ってみたいセリフ

「ジロジロ見てんじゃねえよ!」。

(岡本 祐子)





今回は精神障害者の ADR から少し離れます。
何故患者の一般就労が進まないのでしょうか？
多種多様・数多くの専門職が治療や支援をしてくれて患者が不自由さを感じないからです。
法律・制度・施策が充実していて働かなくても不自由なく暮らせるのに
健全者でも働かないでしょう。
厚生労働省の推進する地域移行・定着支援事業と各福祉サービスが相反しています。
障害者に対する法律・制度・政策は守るばかりでは障害者を廃人にします。
猪突猛進、攻める障害者がこれからは世の中を生き抜くでしょう。

(加藤忠男)

【投稿の募集】

次回の締切は、8月16日(水)です。

利用者の皆様からの投稿をお待ちしています。

『旅立ち』編集委員：加藤、本川、A-Z、H.A.、T、Y.I.、Y.Y.)